

## 2006 年度

科目名  ゼミナールII	対象学科・学年 文学部教福 4回生	担当者  小谷 卓也
<b>授業テーマ</b> 卒業研究に必要な情報検索能力、調査計画能力、データ解析能力、プレゼンテーション能力などの習得		
<b>授業の概要と目標</b> ゼミナールIで決定した卒業研究のテーマに関する先行研究結果をもとに、実際に調査(実験)計画を立てる。さらに調査(実験)の結果得られたデータを詳細に分析して考察し、卒業論文をつくりあげる。最後に、卒業研究について発表を行い、今後の研究課題を明らかにする。		
<b>評価方法</b> 卒業研究への取り組み(平常点)、卒業論文の質、卒業研究発表、ゼミへの貢献度などによって総合的に評価します。		
テキスト ゼミ生個々の研究テーマにあった文献や資料を準備します。	著者	出版社
参考書 必要に応じて紹介します。	著者	出版社
<b>[授業スケジュール・内容]</b> 少少の変更はあるかもしれません、基本的には下記の要領に従って授業を進めていきます		
学習項目	学習内容	
第1回 卒業研究の年間計画の立案	自らの研究課題に対し、年間を見通した長期の計画を立てる。	
第2回 調査(実験)計画の立案(1)	実行可能な調査(実験)計画を立てる。	
第3回 調査(実験)計画の立案(2)	立案された調査(実験)計画をもとに、物的・人的準備を行う。	
第4回 調査(実験)の実施(1)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第5回 調査(実験)の実施(2)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第6回 調査(実験)の実施(3)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第7回 調査(実験)の実施(4)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第8回 調査(実験)の実施(5)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第9回 調査(実験)の実施(6)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第10回 調査(実験)の実施(7)	関係機関との協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。	
第11回 調査(実験)結果の整理(1)	調査(実験)の結果得られたデータを、表やグラフを用いて整理する。	
第12回 調査(実験)結果の整理(2)	調査(実験)の結果得られたデータを、表やグラフを用いて整理する。	
第13回 データ分析(1)	調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。	
第14回 データ分析(2)	調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。	
第15回 データ分析(3)	調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。	
第16回 データ分析(4)	調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。	
第17回 研究結果の考察(1)	データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。	
第18回 研究結果の考察(2)	データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。	
第19回 研究結果の考察(3)	データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。	
第20回 研究結果の考察(4)	データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。	
第21回 研究結果の考察(5)	データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。	
第22回 研究結果の考察(6)	データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。	
第23回 卒業論文の作成(1)	これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。	
第24回 卒業論文の作成(2)	これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。	
第25回 卒業論文の作成(3)	これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。	
第26回 卒業論文の作成(4)	これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。	
第27回 卒業論文の作成(5)	これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。	
第28回 研究成果の発表(1)	卒業研究の成果を、他者に発表する準備を行う。	
第29回 研究成果の発表(2)	卒業研究の成果を、他者に発表する準備を行う。	
第30回 卒業研究成果発表会	卒業研究の成果を互いに発表し合い、討論する。	